

もくじ

- ・ わか 若 みず がえりの水

わか 若 みず がえりの水

げんさく 原作： にほん 日本 むかしばなし の昔話

イラスト： ちひろ

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

3

むかしむかし、ある^{むら}村に、おじいさんとおばあさんが^す住んでいました。

ある^ひ日、おじいさんが^{やま}山で^{ひろ}たきぎを拾っていました。夕暮れ^{ゆうぐ}時^{どき}になり、おじいさんは^{ひろ}拾った^{ひろ}たきぎをひとまとめにして、^{せなか}背^{かつ}中に担ぎました。

「ふう、やれやれ。この^{とし}ところ^{とし}歳のせいか、たきぎが^{おも}重^{かん}く感じるわい」

おじいさんは^{かえ}帰りの^{やまみち}山道^{とちゅう}の途中で、^き切り^{かぶ}株^{こし}に腰を^お下^{ひとやす}ろし、一休みすることにしました。



「ああ、のどがかわいた。どこかに、川かわき水でも
ないかな・・・」

ふとおじいさんの^{みみ}耳に、ちよろちよろと水^{みず}の流れる^{なが}
音^{おと}が聞こえてきました。

なんとすぐ近く^{ちか}のしげみ^{なか}の中に、きれいな水^{みず}の
わき^で出る、小さな泉^{ちい いずみ}があったのです。

「おお、こりや^{たす}助かった！」

おじいさんは、両手^{りょうて}で水^{みず}をすくって飲^のみました。

少し休^{やす}んでから、おじいさんは再^{ふたた}びたきぎ^{かつ}を担^{かつ}
いで、山^{やま}を下^{くだ}り始^{はじ}めました。

なぜか体^{からだ}に力^{ちから}がわいて、いつもよりずっと軽^{かる}い
足取^{あしど}りで、山道^{やまみち}を歩^{ある}いていきました。

